

情報通信審議会 電気通信事業政策部会
電気通信番号政策委員会(第21回) 事業者プレゼン資料

KDDI株式会社

2018年4月26日



弊社の0ABJ番号を利用した転送サービス

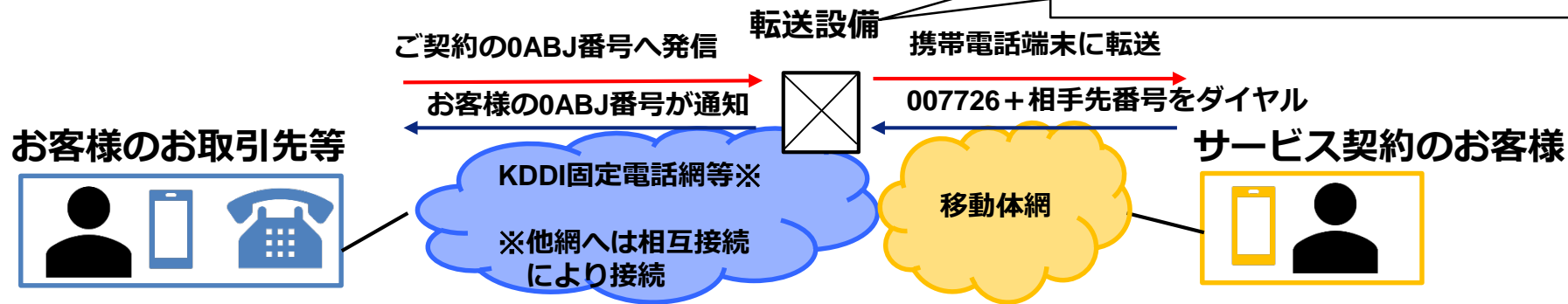
0ABJ番号を利用した転送サービスとして、弊社のauオフィスナンバーをご紹介します。

<法人のお客様向け：auオフィスナンバー>

VoLTE (LTEネットワーク上で音声通話を実現する技術) と高品質IPネットワークとを組み合わせ提供する固定電話サービスです。外出先等でも自席にて、0ABJ番号で着信を受けられます。

お客様の着信時イメージ →
お客様の発信時イメージ →

お客様のご利用拠点と
同一番号区画に設備を設置



ヒアリング項目への回答(1/3)

現状、弊社が提供している転送電話サービス全般に対して、以下回答致します。

転送電話サービスを利用する契約者の拠点と番号区画の関係(犯罪収益移転防止法への対応)

電気通信番号の持つ地理的識別性の観点から、サービスを利用される拠点と番号区画は一致させたサービス提供をしております。

また、当該サービス契約時に、使用場所として記された先にダイレクトメール等を送付し、使用者の存在等を定期的を確認しております。

転送電話サービスに係るネットワーク構成

固定回線やGW/PBXの設備については、サービスを利用される拠点と同じ番号区画内に設置して、サービス提供をしております。

GW設置場所は弊社網内であり、弊社が管理しています。PBXについては、以下表の通りです。

PBXの設置場所	PBXの管理者
お客様事務所に設置するケース	お客様
お客様が契約されるデータセンターに設置するケース	弊社

auオフィス
ナンバーは
赤枠に該当

ヒアリング項目への回答(2/3)

緊急通報の確保の状況(緊急通報の可否、提供条件、緊急機関への位置情報発信等)

緊急通報は確保しています。携帯電話設備の位置情報を緊急通報機関に提供しています。auオフィスナンバーでは、携帯電話による緊急通報を提供することで代替しています。

- ・ 転送される場合の利用者への通知
(特にインターネットを経由する転送の場合、音声ガイダンスや発信音等の有無とその内容)
- ・ 転送電話を提供するネットワークにおける通話品質の確保
(0ABJ番号に求められる通話品質よりも低水準の品質区間を経由するか等)

KDDIの受け持つ責任分界区分でのネットワーク品質は維持しており、転送通知音を入れていません。auオフィスナンバーでは、固定網と携帯電話網で構成されています(インターネット網を介していません)。

転送される場合の利用者に表示される番号 (番号区画外からの発信の場合、日本国外からの発信の場合、インターネット経由の場合等)

転送GWが所要の手続きなく番号区画外に移転されたことを確認された場合、一部問い合わせ窓口の番号を除いて接続を規制する等の措置を行っております。

また、一部の海外発信が可能な転送電話サービスでは発番号を非表示としています。

ヒアリング項目への回答(3/3)

**インターネットを経由する転送の場合のセキュリティの措置
(GWでの認証・暗号化等、なりすまし・情報漏洩等の防止措置の有無と内容)**

契約に係る認証を実施しています。転送呼ごとに回線認証を行っています。

0ABJ番号の指定を受けた事業者(卸元事業者)から卸提供を受けて卸先事業者が転送電話サービスを提供している場合の、卸元事業者による卸先事業者のサービス内容等の把握状況

契約時に確認された内容を把握しております。しかしながら、弊社の回線契約者が転送サービスを提供している場合、転送サービス事業者の責任範囲であるため、転送サービスの詳細について、弊社は把握しておりません。

- ・ 転送電話サービスにおいて0ABJ番号を使用する必要性
(050番号を使用することでは何故いけないのか等)
- ・ 転送電話サービスを利用する契約者(特に法人ユーザ)の意見
(転送電話サービスのメリットや利便性、050番号を使用することでは何故いけないのか等)

0ABJ番号を利用した弊社転送電話サービスは、個人・法人のお客様からニーズをいただいていると理解しております。

Designing The Future

